

研究課題名	未分化型胃癌における H. pylori 感染の影響と除菌後未分化型胃癌の臨床病理学的特徴
研究責任者名	広島大学病院 消化器・代謝内科 教授 岡 志郎
研究期間	2022 年 月 日(倫理委員会承認後)～2032 年 12 月 31 日
対象者	2010 年 1 月から 2030 年 12 月の間に、広島大学病院内視鏡診療科において未分化型早期胃癌に対して胃内視鏡切除ならびに外科治療を受けられた患者さん
意義・目的	近年、H. pylori(HP)未感染胃癌や HP 除菌療法成功後 10 年以上経過した症例が増加していますが、現時点では HP 除菌療法成功後 10 年以上経過した症例の臨床学的特徴や病理学的特徴、そしてHP除菌による効果、それに伴う腫瘍の変化などは十分に解明されているとは言い難いです。また、除菌によって、最終的にHP未感染胃癌の特徴と同様の臨床病理学的特徴を示すのであれば除菌の効果は有用である可能性もありますが、それらについて検討した報告は散見する程度であり、今回、未分化型癌における HP 未感染胃癌と除菌後胃癌の臨床病理学的特徴を比較検討することで、臨床病理学的特徴を解明し、早期胃癌の早期発見早期治療を可能にする意義を有する可能性があり、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は①患者背景：年齢、性別、萎縮度、除菌後年数、喫煙歴、家族歴、②内視鏡所見：病変径、局在、肉眼型、③病理学的特徴：主組織型、深達度、脈管侵襲です。また、個人を特定可能な情報は解析に用いません。
共同研究機関	ありません
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 消化器・代謝内科 教授 岡 志郎
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。
問合せ・苦情等の窓口	

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5939

広島大学病院 消化器・代謝内科 教授 岡 志郎